

# 令和4年度 荒尾市当初予算案の概要



令和4年4月にあらおシティモール内にオープン予定の新図書館  
開館記念イベントとして有名作家による講演会も予定しています。



令和5年10月開院予定の新病院「荒尾市立有明医療センター」  
地域住民の安心安全を守るため、救急医療、感染症対策機能を  
更に強化します。

# 目次

1. 会計別予算規模	1P
2. 一般会計歳入予算	2P
3. 一般会計歳出予算(目的・性質)	3～6P
4. 財政状況(基金、市債残高)	7～8P
5. 基本方針と主要事業	9P
6-1. 切れ目のない充実した子育て環境をつくる	10～12P
6-2. 誰もがつながりを持ち、健康でいきいきとした暮らしをつくる	13～14P
6-3. 雇用の確保と所得の向上で安定した暮らしをつくる	15～16P
6-4. あらおファンを増やすとともに、移住しやすい環境をつくる	17～18P
6-5. 先進的で持続可能なまちをつくる	19～20P
6-6. 市制80周年記念関連事業	21～22P
6-7. 新型コロナウイルス感染症対策事業	23～26P

# 予算規模

## 一般会計当初予算 246億4,000万円

### 令和4年度会計別予算規模

会計名		令和4年度	令和3年度	当初予算の比較	
一般会計		246億4,000万円	230億8,000万円	+15億6,000万円(+6.8%)	
特別会計	国民健康保険特別会計	74億3,593万円	70億9,063万円	+3億4,530万円(+4.9%)	
	後期高齢者医療特別会計	9億1,357万円	8億4,401万円	+6,956万円(+8.2%)	
	介護保険特別会計	61億2,325万円	60億2,598万円	+9,727万円(+1.6%)	
	南新地土地区画整理事業特別会計	16億1,848万円	10億5,510万円	+5億6,338万円(+53.4%)	
企業会計	水道事業	収益的支出	10億8,738万円	10億8,956万円	△218万円(△0.2%)
		資本的支出	11億2,241万円	12億5,716万円	△1億3,475万円(△10.7%)
	下水道事業	収益的支出	13億6,350万円	14億4,665万円	△8,315万円(△5.7%)
		資本的支出	12億8,380万円	12億6,108万円	+2,272万円(+1.8%)
	病院事業	収益的支出	71億6,254万円	70億4,531万円	+1億1,723万円(+1.7%)
		資本的支出	59億2,701万円	18億6,720万円	+40億5,981万円(+217.4%)

# 歳入予算の内訳

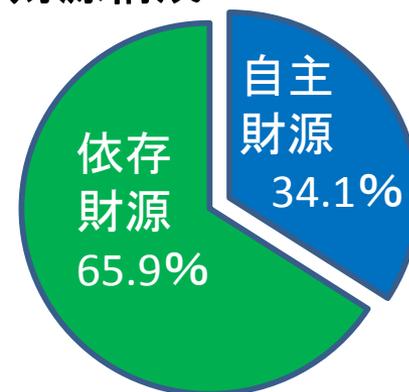
## 一般会計歳入予算

歳入は、市税や地方交付税など、その性質により区分することとなっています。また、市税、施設使用料などの「自主財源」と、国や県によって額が決められ、交付されたりする「依存財源」の2つに区分されます。

区 分	説明	当初予算額	前年度比
自主財源		84億186万円	+15.0%
市 税	市民税や固定資産税等	51億8,970万円	+6.1%
分担金及び負担金	保育料等	1億695万円	△10.5%
使用料及び手数料	施設の使用料や各証明書の交付手数料	5億5,314万円	△1.5%
繰 入 金	基金などからの繰入金	14億2,806万円	+72.8%
そ の 他	寄附金や受託事業収入	11億2,401万円	+23.6%
依存財源		162億3,814万円	+3.0%
地方交付税等	地方交付税や地方譲与税など、国が集めた税金などが一定割合で配分されるもの	64億2,209万円	△1.1%
国県支出金	特定の事業に対する国県からの補助金など	74億9,335万円	+14.0%
市 債	大きな事業を行うために国や銀行から借り入れるお金	12億1,070万円	△24.0%
地方消費税交付金	地方消費税を財源として交付されるお金	11億1,200万円	0.0%



財源構成



# 歳出予算の内訳

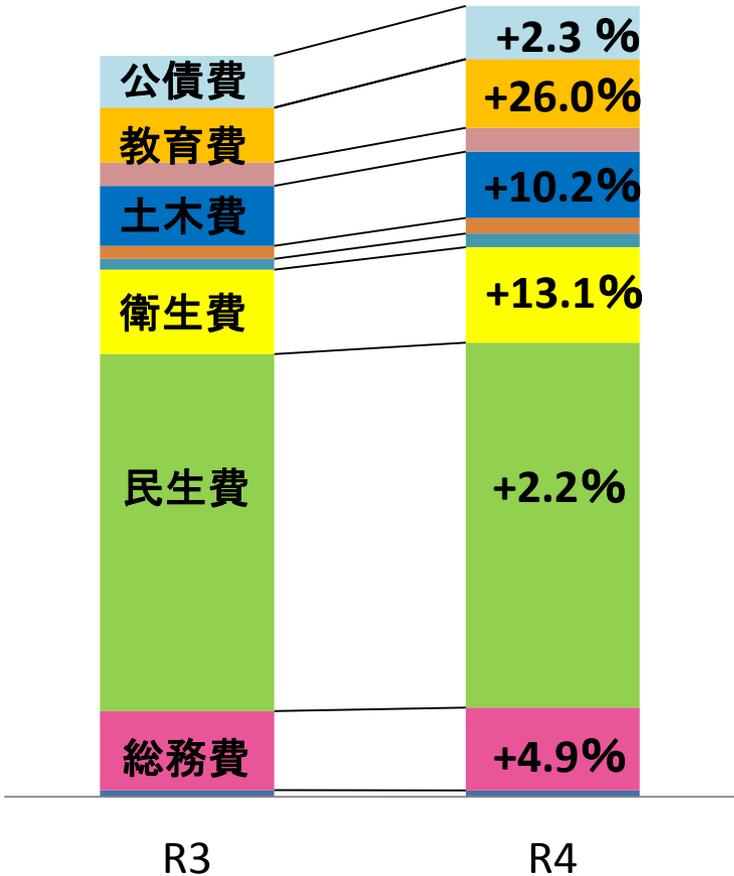
## 一般会計歳出予算【目的別】

歳出は、民生費、土木費、教育費など、その目的により区分することとなっています。

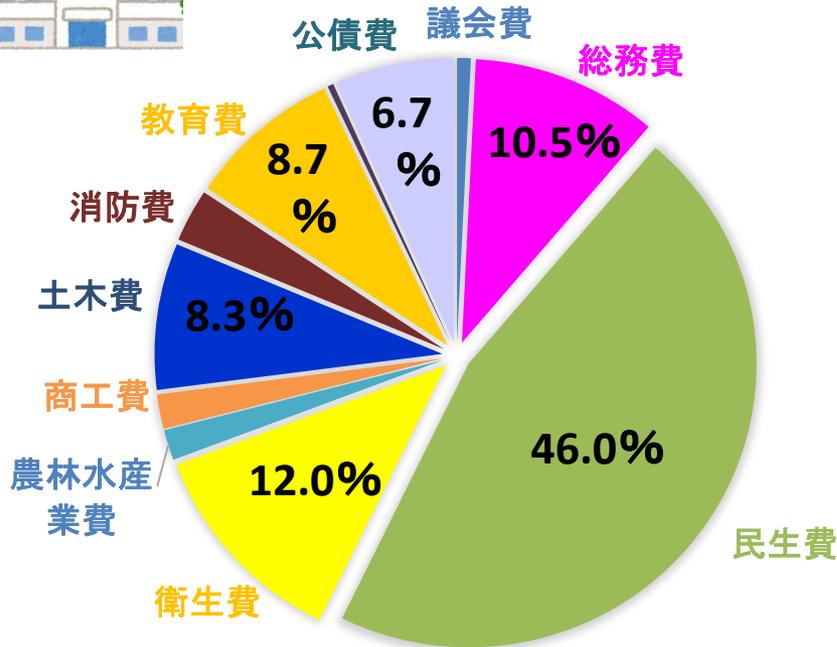
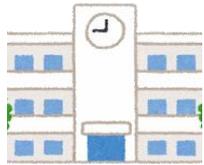
区 分	説 明	当初予算額	前年度比
議 会 費	議員の報酬や議会事務、運営経費	1億8,997万円	△5.0%
総 務 費	市全般的な管理事務などにかかる経費	25億7,942万円	+4.9%
民 生 費	社会生活を保障するための経費	113億3,742万円	+2.2%
衛 生 費	市民の健康で衛生的な生活環境を保持するための経費	29億6,541万円	+13.1%
農林水産業費	農林水産業の振興などにかかる経費	4億2,474万円	+28.5%
商 工 費	商工業の振興や観光事業にかかる経費	4億8,248万円	+19.3%
土 木 費	道路・公園・港湾・市営住宅などの維持、建設経費	20億5,569万円	+10.2%
消 防 費	消防・水防・災害対策や救急活動にかかる経費	7億4,089万円	+1.2%
教 育 費	学校教育や生涯学習などの教育分野にかかる経費	21億3,230万円	+26.0%
公 債 費	市の借金を返済するための経費	16億4,782万円	+2.3%
そ の 他	労働環境の維持改善や災害復旧にかかる経費	8,386万円	+14.9%
合 計		246億4,000万円	+6.8%

# 一般会計歳出予算【目的別】

歳出予算の推移



構成比



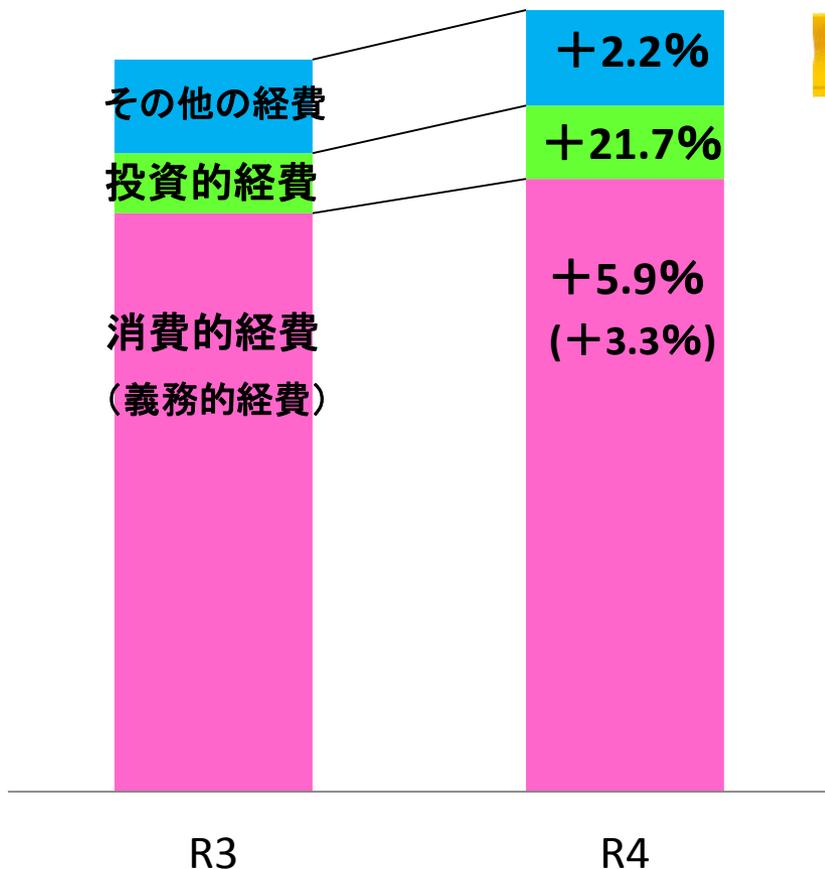
# 一般会計歳出予算【性質別】

歳出をその性質により分類すると、支出の効果がきわめて短期間で終わるものを「消費的経費」、道路・橋りょう、公園、学校などの建設や大規模改修など、社会資本の整備に要する経費である「投資的経費」、「その他の経費」に大別されます。

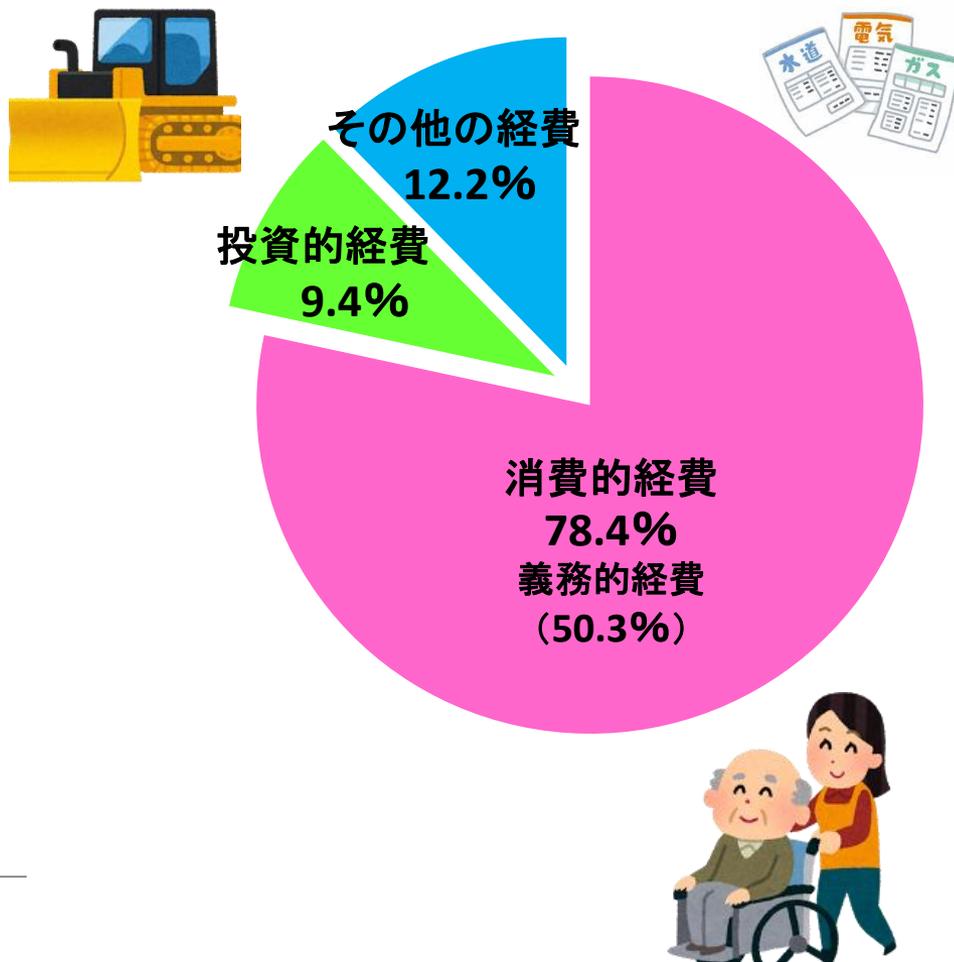
区 分	説 明	当初予算額	前年度比
消費的経費		193億2,253万円	+5.9%
義務的経費	支出することが義務付けられている経費	123億8,947万円	+3.3%
人件費	職員の給与や手当など	31億2,529万円	+4.7%
扶助費	生活保護、高齢者・障がい者支援などの福祉、医療にかかる経費	76億1,636万円	+3.0%
公債費	市の借金返済にかかる経費	16億4,782万円	+2.3%
物件費	光熱水費、消耗品費、委託料など	31億4,283万円	+11.6%
維持補修費	施設などの維持補修にかかる経費	3億1,777万円	+28.6%
補助費等	市民団体等への補助や関係団体への負担金	34億7,246万円	+9.0%
投資的経費		23億786万円	+21.7%
普通建設事業費	公共施設やインフラ施設の整備にかかる経費	22億9,761万円	+21.8%
災害復旧事業費	自然災害により被災した公共土木施設等を復旧する費用	1,025万円	+1.6%
その他の経費		30億961万円	+2.2%
積立金、出資金、貸付金	基金への積立金など	395万円	△94.2%
繰出金	特別会計や企業会計の必要経費を補てんするためなどの目的のために支出する経費	30億566万円	+4.5%
合 計		246億4,000万円	+6.8%

# 一般会計歳出予算【性質別】

## 歳出予算の推移



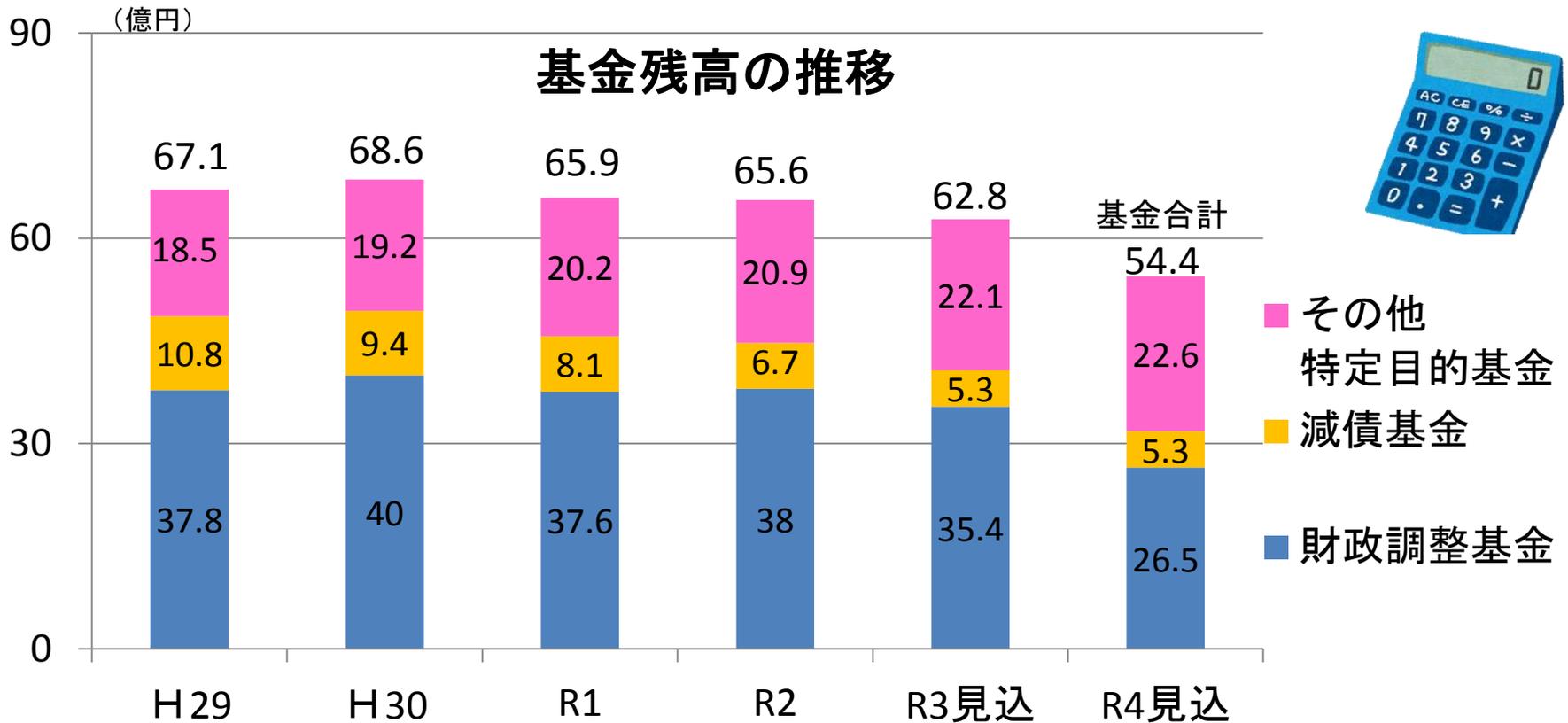
## 構成比



# 財政状況

## 基金残高(市の貯金)

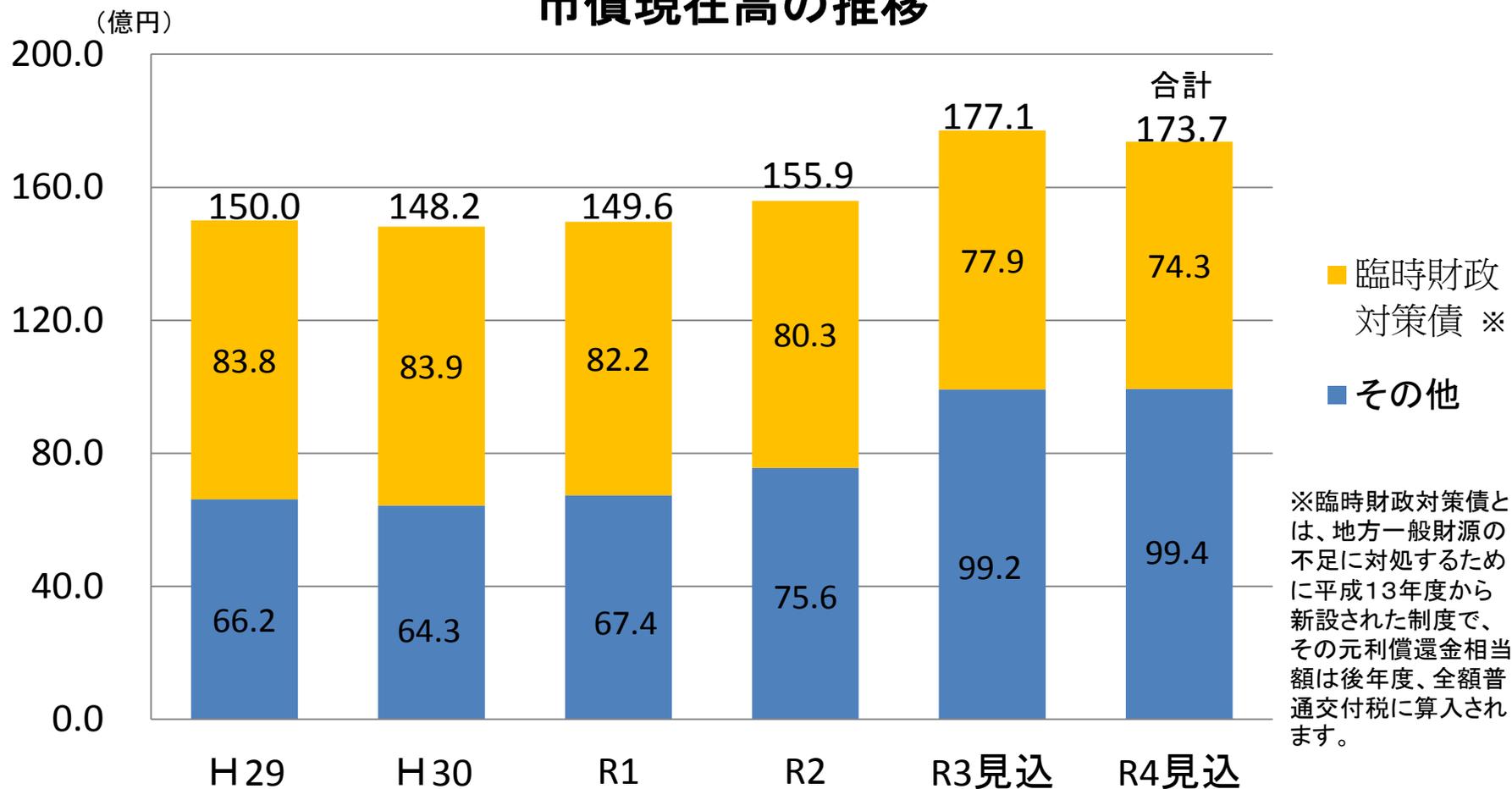
積立基金とは、本市の貯金のことです。災害復旧など臨時の支出や、経済状況の変動で収入(歳入)が足りないときや、ある特定の目的で事業を実施するときに取り崩します。



# 市債現在高(市の借金)

市債とは、本市の借金のことです。公共施設などを整備するための財源です。単年度に大きな負担をしないですみますが、後年度に地方債の元利償還金という形で将来の市民の負担になるので、借入れには十分気を付けなければいけません。

## 市債現在高の推移



# 当初予算編成の基本方針

## 荒尾市が目指す将来像

### ～人がつながり幸せをつくる 快適未来都市～

新たなまちづくりを目指すため、重点戦略『あらお未来プロジェクト』に沿った施策を、積極的に推進していきます。

『あらお未来プロジェクト』

1. 切れ目のない充実した子育て環境をつくる
2. 誰もがつながりを持ち、健康でいきいきとした暮らしをつくる
3. 雇用の確保と所得の向上で安定した暮らしをつくる
4. あらおファンを増やすとともに、移住しやすい環境をつくる
5. 先進的で持続可能なまちをつくる

# 1. 切れ目のない充実した子育て環境をつくる

拡  
充

放課後児童クラブ施設整備事業

116,466千円

子育て支援課

放課後児童クラブの待機児童の解消を図るため、荒尾第一小学校敷地内に放課後児童クラブを整備します。令和5年度に開設予定です。



拡  
充

中学校フリースクール事業

15,878千円

教育振興課

生徒の不登校の解消や未然防止のため、荒尾第三中学校に設置している「ハートフルルーム」を、海陽中学校及び荒尾第四中学校にも設置します。



# 1. 切れ目のない充実した子育て環境をつくる

拡  
充

産後ケア事業(宿泊型)

788千円

すこやか未来課

産婦の心身の回復促進や育児技術の習得による不安軽減を図るため、産後ケア事業(訪問型、デイサービス型)に、新たに宿泊型を追加します。



新規

6～7か月児相談事業

216千円

すこやか未来課

乳児期の支援の充実を図るため、3か月児健診と9か月児健診の間に、離乳食開始後の6～7か月児全員を対象とした相談事業を開始します。



新規

子育て支援タクシー実証実験

506千円

総合政策課

子育て世帯の習い事や塾の送迎負担を軽減するため、「子育て支援タクシー(仮称)」の導入に向けて実証実験を行います。

# 1. 切れ目のない充実した子育て環境をつくる

## 子ども未来基金を活用します

継続

新生児聴覚検査助成事業 1,868千円

すこやか未来課

新生児の聴覚障がいの早期発見・早期治療につなげるために、新生児に対して実施する聴覚検査に係る費用を助成します。(上限5,000円)



継続

子ども未来文庫整備事業 2,600千円

教育振興課

児童生徒が多くの図書に触れることができるよう、書籍類の購入を行い、学校図書館の充実を図ります。(1校当たり20万円、小中学校13校分)



継続

英語検定チャレンジ事業 3,632千円

教育振興課

英語学力の向上を目指し、中学校1年生に対して英語検定料5級相当、中学校2年生に対して英語検定料4級相当、中学校3年生に対して英語検定料3級相当を市と県で全額助成します。



## 2. 誰もがつながりを持ち、健康でいきいきとした暮らしをつくる

継続

新病院建設関連事業

5,341,370千円

市民病院

新病院建設については、令和5年10月の開院と令和6年11月のグランドオープンに向け、建設工事を進めています。

新病院の特徴としては、一般病床を全室個室にするほか、救急医療等への更なる対応として、屋上ヘリポートと救急部門や手術室を救急専用エレベーターで直結します。また、災害医療にも対応した免震構造を採用するとともに、感染症指定医療機関として、感染症専用エレベーターを設置し、指定病床以外にも高機能な空調システムを導入します。



新病院イメージ

(事業費内訳)	建築工事費	5,263,600千円
	施工監理費	58,630千円
	建設事業支援業務委託料	19,140千円

拡充

図書館管理費

116,537千円

生涯学習課

4月にあらおシティモール内に開館する図書館につきましては、指定管理者の(株)紀伊國屋書店により運営されます。開館日にはオープニング式典を開催します。



## 2. 誰もがつながりを持ち、健康でいきいきとした暮らしをつくる

継続

高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業  
12,558千円

すこやか未来課

高齢者ができる限り住み慣れた地域で自立した生活が送れるように、疾病予防の保健事業とフレイル(虚弱)を予防するための介護予防事業を一体的に行います。



新規

認知症コホート大規模調査事業  
48千円

保険介護課

健康寿命の延伸を図るため、令和4年秋に熊本大学と共に約1,500人の本市高齢者を対象とした2回目の大規模調査を実施します。



新規

地域福祉計画策定事業  
7,360千円

福祉課

地域福祉推進の基盤や体制づくりを推進するため、本市の「地域福祉計画」と、荒尾市社会福祉協議会の「地域福祉活動計画」とを一体的に検討し、「荒尾市地域福祉計画・地域福祉活動計画」(第4期)を策定します。



### 3. 雇用の確保と所得の向上で安定した暮らしをつくる

継続

浜の活力再生事業

1,992千円

農林水産課

令和3年度に実証実験として荒尾干潟にマガキ養殖場を設置し、有効性が認められました。令和4年度は、個体数の増加に向けて取り組みます。

<スケジュール(予定)>

令和4年度:試験販売の準備、生産力強化

令和5年度:直売所での試験販売、販売力強化

令和6年度以降:直売所での本格販売



拡充

特産品開発事業

3,928千円

産業振興課

生産者・加工業者の所得向上、道の駅あらお(仮称)の品ぞろえの充実を図るため、令和2,3年度に開発した新商品の販路開拓に向けた支援や事業推進体制の構築に向けた人材育成を行います。

新規

有害鳥獣若手捕獲者育成補助金

550千円

農林水産課

有害鳥獣捕獲者の高齢化や担い手不足等の課題を解決するため、若手農業者等を捕獲者として育成し、有害鳥獣による農作物被害の防止を図ります。

### 3. 雇用の確保と所得の向上で安定した暮らしをつくる

新規

農水産物地産地消推進事業

2,600千円

農林水産課

農家の所得向上、地域経済の循環等につなげるため、市内農家や市内飲食店と連携し、市内で生産された農水産物を使用したグルメフェアを開催します。また、農業を手伝いたい人と手伝ってほしい農家をマッチングさせ、荒尾の農業の魅力発信、農家の負担軽減を図ります。



拡充

農水産物販路拡大推進事業

10,000千円

農林水産課

梨農家の経営安定化及び持続可能な梨産地の維持につなげるため、インターネット販売を中心した高付加価値販売の支援や「あきづき」の認知度向上に取り組みます。

継続

荒尾・大牟田連携「地元企業と学校の情報交換会」事業  
198千円

産業振興課

地元企業の認知度の向上を図り、地域の高校生の地元就職率向上、企業の人材確保を支援するため、大牟田市と連携して地元企業と学校の情報交換会を実施します。



## 4. あらおファンを増やすとともに、移住しやすい環境をつくる

新規

炭鉱電車保存整備事業

140,823千円

文化企画課

三井化学(株)から寄贈される炭鉱電車2両を万田坑敷地内に静態保存展示するための整備を行います。

拡充

民俗文化財伝承・活用等事業

7,820千円

文化企画課

令和3年3月に国指定重要無形民俗文化財に指定された野原八幡宮風流について、保存継承のために映像記録を作成します。  
また、令和4年12月にユネスコ無形文化遺産に登録予定であるため、採択の瞬間に合わせてパブリックビューイングを実施します。



(写真:野原地区)

継続

国重要文化財建造物保存修理事業

260,811千円

文化企画課

経年劣化が著しい万田坑の倉庫及びポンプ室他1棟の修理及び耐震補強工事を行います。  
令和6年度の修理完了後は公開エリアを拡大し、万田坑の更なる魅力発信につなげます。

## 4. あらおファンを増やすとともに、移住しやすい環境をつくる

新規

観光DX人材育成事業

990千円

産業振興課

集客や観光消費額の増加につなげるため、民間事業者自身が効果的な情報発信及びデジタルデータを活用したマーケティングを行うことができるよう支援します。

新規

荒尾干潟ラムサール条約登録10周年記念事業  
754千円

環境保全課

ラムサール条約湿地登録10周年を記念し、「荒尾干潟の日」である7月3日に、講演会やイベントを開催します。

## 5. 先進的で持続可能なまちをつくる

継続

南新地土地地区画整理事業特別会計

1,618,479千円

都市計画課

これまでに引き続き道路工事、無電柱化工事、建物移転補償を行うほか、場外馬券場が新施設に移転後に旧荒尾競馬場スタンドの解体工事を行います。また、荒尾北インター線を含む一部市道区間の供用開始を予定します。



継続

南新地地区ウェルネス拠点形成プロジェクト  
マネジメント事業

56,863千円

総合政策課

道の駅と保健・福祉・子育て支援施設を複合化した、荒尾市ウェルネス拠点施設（仮称）整備・運営事業に係るPFI事業者選定、契約締結、開業後のモニタリング計画作成等を行います。

新規

荒尾駅周辺地区整備事業

14,650千円

都市計画課

荒尾駅周辺地区の更なる魅力向上を図るため、令和3年度に策定する荒尾駅及び荒尾駅周辺地区整備構想を踏まえ、土地利用や交通・道路計画、まちづくりの取組等の検討を行い、基本計画を策定します。

## 5. 先進的で持続可能なまちをつくる

新規

地球温暖化対策事業

191,635千円

環境保全課

「2050年温室効果ガス排出量実質ゼロ」に向けて、環境にやさしい持続可能なまちづくりを推進するため、一般住宅や事業者への太陽光発電設備及び蓄電池の設置に対して補助を行います。

- ・補助額：太陽光パネル設置（市民：7万円/kw、事業者：5万円/kw）  
蓄電池設置（市民：5.5万円/kwh、事業者：7万円/kwh）



継続

自治体版RE100推進事業

13,310千円

環境保全課

脱炭素化の取組を推進するため、J-クレジット制度を活用し、公共施設が使用する全ての電力を再生可能エネルギー由来の電力で賄い、排出CO2も実質ゼロとする自治体版RE100に取り組みます。

新規

大和団地移転促進事業

4,275千円

建築住宅課

昭和40年前後に建設され、老朽化が著しい大和団地の入居者に対し、桜山団地、八幡台団地などの低層階への転居を促進します。

- ・大和団地入居世帯数 51世帯（令和4年1月時点）
- ・移転補償金 一世帯当たり17万1千円

## 6. 市制80周年記念関連事業

新規

荒尾市制80周年記念式典

419千円

総合政策課

令和4年4月1日に市制80周年を迎えることから、4月3日に文化センターで記念式典を開催します。  
また、1年を通して記念事業及び冠事業を実施し、市全体で市制80周年をお祝いし、盛り上げます。

新規

熱気球係留体験飛行イベント

543千円

都市計画課

あらお海陽スマートタウンで熱気球の係留飛行に搭乘してもらい、上空からの荒尾市の景観の素晴らしさを知っていただきます。

- ・実施時期: 11月頃を予定
- ・場所: あらお海陽スマートタウン内



新規

新荒尾市立図書館開館記念イベント

1,117千円

生涯学習課

新図書館の開館記念イベントとして、幅広い年齢層の人々に図書館や本に興味を持ってもらうため、有名作家による講演会を開催します。



## 6. 市制80周年記念関連事業

新規

荒尾市出身トップアスリート交流事業

2,989千円

生涯学習課

本市のスポーツ振興を図るため、トップレベルで活躍する荒尾市出身のアスリートを講師として招き、スポーツ教室を実施します。



新規

ロアツソ熊本交流事業

572千円

生涯学習課

ロアツソ熊本が企画する「ロアツソ熊本火の国もりあげタイ！」の2022年の実施自治体として、ロアツソ熊本と協力してまちおこしを行います。



その他4事業 3,188千円

合計 8,828千円

## 7. 新型コロナウイルス感染症対策事業

継続

新型コロナウイルスワクチン接種事業  
217,940千円

新型コロナウイルス  
ワクチン接種対策室

新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種について、必要な体制を整備し、速やかな接種に努めます。



継続

移動困難者のワクチン接種会場輸送支援事業  
930千円

福祉課

ワクチン接種会場までの移動手段がない人で、①要介護認定を受けている人、②身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている人、③令和4年度中に75歳以上になる人、④65歳以上で運転免許証を返納した人に、自宅からワクチン接種会場への小型タクシー往復の初乗り料金相当額を助成します。



継続

新型コロナウイルス感染症対策事業  
6,300千円

子育て支援課

児童福祉施設等における新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、マスクや消毒液等の衛生用品や感染防止のための備品購入等に対する経費の補助を行います。



## 7. 新型コロナウイルス感染症対策事業

継続

新型コロナウイルス感染症傷病給付金事業  
1,400千円

保険介護課

自営業者等が新型コロナウイルス感染症に感染したことで、働くことができず、収入が減少し、加入している医療保険制度で傷病手当金の支給対象とならない場合に、対象者1人につき7万円の定額傷病給付金を支給します。



継続

新型コロナ感染症生活困窮者自立支援事業  
6,101千円

福祉課

新型コロナウイルス感染症対策に係る生活困窮者対策として、緊急小口資金等の特例貸付を利用できない世帯で、要件を満たす生活困窮世帯に対し、自立支援金を支給します。  
支給額(月額):単身世帯6万円、2人世帯8万円、3人以上世帯10万円  
※令和4年3月までの申請分に限りです。

新規

地域医療介護総合確保基金事業(新型コロナ)  
9,845千円

保険介護課

国の地域医療介護総合確保基金を活用し、介護施設等における新型コロナウイルス感染症拡大防止対策支援として、簡易陰圧装置設置費用の補助を行います。



## 7. 新型コロナウイルス感染症対策事業

継続

宿泊支援事業補助金

6,000千円

産業振興課

コロナの影響により落ち込んだ宿泊事業者を支援するため、市内宿泊施設で使える3,000円の宿泊チケットを1,000円で販売します。



継続

バスツアー誘致拡大補助金

600千円

産業振興課

本市を訪問する団体バス旅行を実施する事業者に対し、参加者一人当たり1,000円を補助します。



新規

ワーケーション推進に向けた実証事業

2,625千円

産業振興課

観光スポットを活用した本市ならではの働き方や休み方を提案するため、ワーケーションモデルツアーの造成やモニターツアーを実施し、観光客の増加や企業誘致につなげます。

## 7. 新型コロナウイルス感染症対策事業

継続

プレミアム付き商品券発行支援事業 48,380千円

産業振興課

新型コロナウイルス感染症に対応しながら地域経済を循環させるため、AraoPAYを活用してプレミアム付き電子商品券を発行します。

継続

小・中学校ICT環境整備事業 151,883千円  
(小学校107,768千円、中学校44,115千円)

教育振興課

オンライン授業の配信環境を向上させるために、音響機材を整備します。また、LTE通信を用いることにより、運動会等の校舎外での行事をオンライン配信することもでき、感染症対策を講じながら学校行事を進めていきます。



継続

小・中学校保健特別対策事業 2,365千円  
(小学校1,795千円、中学校570千円)

教育振興課

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に対して、各学校の状況に即して感染予防対策の消耗品を購入し、迅速な感染予防対策を行えるようにします。

